



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ
コード番号 6239 URL <http://www.nagaokajapan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600
四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	1,669	4.2	283	△19.3	300	△15.9	175	△32.2
2020年6月期第1四半期	1,602	89.8	351	282.7	356	346.8	258	583.0

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 250百万円 (65.0%) 2020年6月期第1四半期 151百万円 (637.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	25.31	—
2020年6月期第1四半期	37.48	—

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	5,948	3,213	54.0
2020年6月期	6,345	3,031	47.8

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 3,213百万円 2020年6月期 3,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△9.9	700	△35.0	700	△33.0	500	△28.9	72.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	7,078,400株	2020年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	149,160株	2020年6月期	149,160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	6,929,240株	2020年6月期1Q	6,899,260株

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、2020年6月期1Qの「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、企業業績や雇用、所得環境が悪化しましたが、感染拡大防止策を講じつつ経済活動の再開を進めるなど持ち直しが期待されます。海外においても経済活動の再開は進んでおりますが、一部の地域では新型コロナウイルス感染症が再拡大するなど世界経済の停滞が長期化することも懸念され、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社を取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響による企業の設備投資意欲の減退や経済活動の制約の影響により厳しい状況となっております。

このような状況の下、水関連事業の売上拡大、NAGAOKA VIETNAM CO., LTD. (2020年3月設立、100%子会社)の本格稼働、エネルギー関連事業における安定的な収益の確保を重点課題と認識し、これらの課題に対処すべく取り組んでおります。

水関連事業では、国内を中心に案件の掘り起こしに注力しております。また、NAGAOKA VIETNAM CO., LTD.については、2020年内の稼働を目指し準備を進めております。エネルギー関連事業では、従来受注に消極的であった製品群について、原価低減の検討を進め、受注獲得を目指しております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は1,669,362千円(前年同期比4.2%増)、営業利益は283,768千円(前年同期比19.3%減)、経常利益は300,289千円(前年同期比15.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は175,379千円(前年同期比32.2%減)となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

① 水関連事業

水関連事業では、取水設備向けの販売については、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり、堅調に推移しました。一方、ケミレスを中心とする水処理装置については、営業面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、国内では徐々に顧客訪問を再開させ、案件の掘り起こしに注力しております。海外においては、現地へ赴いて営業活動ができない状況が継続しており、新規案件の掘り起こしができない状況が続いております。また、NAGAOKA VIETNAM CO., LTD.では、2020年内の工場稼働に向けて準備を進めており、製造拠点としての役割にとどまらず、営業拠点としての活動を本格化させ、東南アジアの取水から水処理までの需要を取り込む所存です。

当四半期の業績につきましては、海外向けの販売が落ち込んだ結果、売上高129,043千円(前年同期比26.8%減)、セグメント損失36,085千円(前年同期はセグメント損失22,888千円)となりました。

② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業では、世界経済の停滞長期化懸念等から新規の石油精製・石油化学プラント建設に向けた動きは鈍い状況となっております。また、欧米をはじめ新型コロナウイルス感染症が再拡大している地域があり、設備投資はさらに冷え込む可能性があります。このような状況の下、いち早く経済活動を再開した中国においては、新規プラントの建設需要を、また欧米においては、既存プラントの設備更新需要の獲得を目指しておりますが、海外での営業活動が十分に行える状況でもなく、厳しい状況が続いております。

当四半期の業績につきましては、前期以前に受注済みの大型案件の製造が進捗したことが売上に寄与し、売上高1,540,318千円(前年同期比8.0%増)、セグメント利益447,206千円(前年同期比3.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は5,948,649千円となり、前連結会計年度末に比べ396,750千円減少しました。これは主に、現金及び預金が339,985千円、投資その他の資産のその他が199,137千円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が690,562千円、原材料及び貯蔵品が266,491千円それぞれ減少したことによるものです。

負債合計は2,735,166千円となり、前連結会計年度末に比べ578,254千円減少しました。これは主に、長期借入金が増加した一方で、流動負債のその他が551,373千円、短期借入金が増加したことから減少したことです。

純資産合計は3,213,482千円となり、前連結会計年度末に比べ181,504千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が175,379千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2020年8月7日の「2020年6月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症等の影響によって、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,069,612	1,409,597
受取手形及び売掛金	2,697,707	2,007,145
商品及び製品	5,915	38,474
仕掛品	165,040	201,789
原材料及び貯蔵品	560,428	293,937
その他	296,830	257,224
貸倒引当金	△6,808	△4,766
流動資産合計	4,788,726	4,203,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	635,222	637,777
機械装置及び運搬具(純額)	238,457	205,869
リース資産(純額)	70,188	67,425
建設仮勘定	18,303	48,932
その他(純額)	74,448	77,705
有形固定資産合計	1,036,621	1,037,710
無形固定資産	300,567	318,098
投資その他の資産		
繰延税金資産	66,055	36,869
その他	153,428	352,566
投資その他の資産合計	219,484	389,436
固定資産合計	1,556,672	1,745,245
資産合計	6,345,399	5,948,649

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	412,121	442,909
短期借入金	1,329,308	1,154,231
未払法人税等	226,310	64,833
賞与引当金	—	31,579
役員賞与引当金	—	47,300
その他	891,205	339,832
流動負債合計	2,858,946	2,080,685
固定負債		
長期借入金	100,000	300,000
違約金負担損失引当金	204,937	209,109
退職給付に係る負債	76,198	75,753
資産除去債務	1,826	1,826
その他	71,512	67,791
固定負債合計	454,474	654,481
負債合計	3,313,421	2,735,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	777,755	777,755
利益剰余金	1,152,176	1,258,263
自己株式	△102,755	△102,755
株主資本合計	3,080,417	3,186,504
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△64,857	△19,505
為替換算調整勘定	16,418	46,482
その他の包括利益累計額合計	△48,439	26,977
純資産合計	3,031,978	3,213,482
負債純資産合計	6,345,399	5,948,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,602,481	1,669,362
売上原価	1,017,044	1,089,226
売上総利益	585,437	580,136
販売費及び一般管理費	233,710	296,367
営業利益	351,727	283,768
営業外収益		
受取利息	5,009	2,118
為替差益	—	9,356
スクラップ売却益	5,585	5,583
補助金収入	3,725	3,737
その他	3,244	6,451
営業外収益合計	17,565	27,248
営業外費用		
支払利息	7,548	8,726
為替差損	4,845	—
支払手数料	—	2,000
その他	4	—
営業外費用合計	12,399	10,726
経常利益	356,892	300,289
特別利益		
固定資産売却益	—	3,453
特別利益合計	—	3,453
特別損失		
固定資産除却損	234	—
特別損失合計	234	—
税金等調整前四半期純利益	356,658	303,743
法人税等	98,095	99,770
法人税等調整額	—	28,594
法人税等合計	98,095	128,364
四半期純利益	258,563	175,379
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,563	175,379

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	258,563	175,379
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△58,842	45,352
為替換算調整勘定	△47,748	30,064
その他の包括利益合計	△106,590	75,417
四半期包括利益	151,972	250,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,972	250,796

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、見積実効税率により税金費用を算定していましたが、当第1四半期連結会計期間より、税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、原則的な方法に変更することといたしました。

なお、当該会計方針の変更による前第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,426,301	176,180	1,602,481	—	1,602,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,426,301	176,180	1,602,481	—	1,602,481
セグメント利益又は損失(△)	461,056	△22,888	438,167	△86,440	351,727

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△86,440千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,540,318	129,043	1,669,362	—	1,669,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,540,318	129,043	1,669,362	—	1,669,362
セグメント利益又は損失(△)	447,206	△36,085	411,120	△127,352	283,768

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△127,352千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。